

## 令和6年度事業計画

### 1. 会議の開催

- ① 理事会2回、評議員会1回以上開催する。

### 2. 機関誌の発行

- ① 「書学」(不定期)、「不二(一般・中高・上級・初級)」、「ぺんの力」計6誌を継続発行する。更に今後も伝統書道の普及を目指し、より一層の内容の充実を図る。

### 3. 月例競書審査会

- ① 会員から提出された清書により、月例審査会に於いて段級位の認定を行う。
- ② 審査及び事務処理体制の充実を図る。
- ③ 全国的な連帯を図るべく、各地の優秀教場・教室長を地方審査員として迎える。

### 4. 昇格・昇段試験

- ① 第1回6月、第2回9月、第3回12月、第4回3月に実施する。
- ② 「一般版」、「ぺんの力」において会友試験を年1回11月に実施する。なお、一般版部門については各段級位に正・準の2階級制度を実施し、「会友」資格への実力向上を図る。

### 5. 会員登録

- ① 公認段級位制、厳正な管理の一環として、引き続き一般版・ぺんの力・中高版・上級版においてバーコードによる段級管理を実施し、段級の厳格化および発表の正確性、月例審査の効率化を図る。
- ② 令和6年度10月号より初級版においてもバーコードによる段級管理を導入する。
- ③ インターネットによる段級位の発表を毎月実施し、国内・海外の会員等に対し、学習のサポート体制の強化を図る。
- ④ 会員に対するサービスの迅速化を図るため、会誌・書学院・通信教育・納経の会員データを統合した会員システムを構築する。

## 6. 書学院

- ① 神田書学院は年3期制（4月・9月・2025年1月開講）とし、2年間で師範取得を目指す師範科と、より専門的に学ぶ特設科を開講。
- ② 老朽化している書学院システムを「桐」から「Salesforce」に移行刷新する。
- ③ リニューアルしたホームページからの集客増を目指す。
- ④ 神田書学院では、全国の需要を取り込むため、リモート授業を展開する。

## 7. 全国優秀教場長教室長表彰・優秀教室会員表彰の開催

- ① 不二誌を通して指導を行っている全国の教場長、教室長を対象に表彰並びに会議を実施する。
- ② 不二誌を通じて書道を学ぶ会員の中で、各教場長、教室長が推薦する者を優秀教室会員として表彰する。

## 8. 資格及び実力の認定

- ① 師範・司教・助教の資格認定、上級・中級・初級の実力認定、および公認段級制度による段級の認定を行う。

## 9. 全国書道検定試験およびペン硬筆検定試験の実施

- ① 第64回全国書道検定試験・第44回全国ペン硬筆検定試験の実施  
5月18日（土）～6月3日（月）、10月12日（土）～10月28日（月）に行い、実地試験は5月23日（木）に神田書学院（東京都）に於いて実施する。司教以下の試験は自宅試験として実施する。
- ② 第96回級位認定書道検定試験・第86回級位認定ペン硬筆検定試験の実施  
5月18日（土）～6月3日（月）に自宅試験として実施する。
- ③ 第97回級位認定書道検定試験・第87回級位認定ペン硬筆検定試験の実施  
10月12日（土）～10月28日（月）に自宅試験として実施する。

## 10. 写経塔・筆塚供養祭の開催

- ① 写経塔・筆塚供養祭の開催。  
供養祭を10月6日（日）に東洋文化不二研修所に於いて実施する。

## 11. 新和様・漢字造型書作家協会

- ① 漢字かな交じり書「新和様」及び「漢字造型」の研究普及活動を推進し、展覧会・講習会等を開催する。
- ② 「第30回 新和様・漢字造型書作家協会 選抜展」の開催  
会 期：8月6日（火）～8月12日（月）  
会 場：東京芸術劇場
- ③ 「第36回 新和様・漢字造型書作家協会 色紙展」の開催  
会 期：8月30日（金）～9月1日（日）  
会 場：神田書学院
- ④ 会報・研究誌の発刊

## 12. 第46回全国公募千字文大会

- ① 会 期：9月21日（土）～9月23日（月） 表彰式：9月22日（日）
- ② 会 場：日本書道藝術専門学校、東洋文化不二研修所
- ③ 優秀作品には文部科学大臣賞、静岡県知事賞他を贈る。  
※学校法人扶桑学園 日本書道藝術専門学校と共催。

## 13. 第15回「漢字造型」と「傳統の寫經」展

- ① 会 期：9月17日（火）～9月22日（日）
- ② 会 場：東京鳩居堂画廊

## 14. 第74回書道學會展

- ① 会 期：令和7年1月4日（土）～1月10日（金）
- ② 会 場：東京都美術館
- ③ 役員の優秀作品には内閣総理大臣賞他、公募の優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

## 15. 第74回全日本学生書道展

- ① 会 期：令和7年1月4日（土）～1月10日（金）
- ② 会 場：東京都美術館
- ③ 優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

## 16. 令和7年書初不二誌上展

- ① 不二各誌およびペンの力の3月号にて、成績ならびに特選作品を掲載する。

## 17. 第38回不二現代書展

- ① 会 期：令和7年3月予定
- ② 会 場：未定（候補地として広島県立美術館）
- ③ 優秀作品には新和様・漢字造型書作家協会賞、文部科学大臣賞他を贈る。

## 18. 文部科学省認定社会通信教育

- ① 「書道基礎科講座」、「書道専攻科講座」、「ペン習字教育講座」「ペン習字基礎講座」、「篆刻入門講座」の5講座を継続実施する。
- ② 別に併設講座として「速習ペン字講座」「写経入門講座」を継続実施する。
- ③ 書道・ペン既存講座の教材の改訂を順次行う。通信教育講座の受講料は、教材改訂後順次見直しを行う。

## 19. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 継続運営する。資料館に於いて書道名蹟を展示し、書道大研修室、視聴覚室、写経道場、坐禅道場、茶室等の場を供し、恵まれた環境の中で書道研修を行い、心身共に調和した学書者を養成する。引き続き、書道名蹟、文房四宝、蔵書の整理も行う。

## 20. 後援・講習会

- ① 書学院に於いて写経実践会・書塾指導者講習会などの講座を実施する。
- ② 全国不二教場・教室主催の書道展・講習会に後援協力する。

## 21. 書道教育推進事業

- ① 平成18年度より内閣総理大臣の認定を受け、「書道教育特区」として実施されていた「書道」授業を引き続き実施し、伊東市内の全小学校7校で、日本書道藝術専門学校の主導のもと、本会の書道師範免許取得者の派遣を継続し、全国各地に「書道」授業導入の支援を行う。

## 22. インターネットの活用

- ① 会員の利便性を高めるため、段級検索機能や納経巻数検索機能の他、会員からの声や活字課題、優秀作品、展覧会案内、受賞作品の掲載など、より多くの情報を提供していく。
- ② 各展覧会の会場の様子および展示作品をWEB展としてホームページにおいて紹介する。

## 23. 書画・書籍の修復・維持

- ① 長期的な視点に立って、石橋犀水の作品の整理、作品の状態の把握、作品の保管環境の改善を図り、また、不二研修所内の作品、書籍の整理及び保管を行う。

以上